

企画提案書

1 プロジェクト名

地域住民の為の通院車両運行

2 実施理由・背景

私たちの住む地域は、総合病院等の有る中心市街地から10kmほど離れた山あい集落が点在する特異性があります。

長い距離の歩行が困難な高齢者や、障がい者の通院手段として路線バスの利用は困難で、自家用車か福祉タクシー利用となっています。

近年高齢者の運転免許証返納が増え、高齢者のみ世帯では自家用車利用からタクシー利用となり、経済的負担も大きく公的支援が求められています。しかし、行政も厳しい財政状況にあり、公的支援は難しい状況にあります。

私たちは現在、軽四の福祉車両2台を運行し、車両運行を維持するために年間およそ135万円の費用が掛かり、費用の大半は地域の企業や個人の方々からの寄附で賄ってきました。

しかし、人知を超える新型コロナウイルスの影響で、地域の経済にも少なからず影響があり、寄附も期待が出来ない事態に直面し、自主的に協力していただいている運転ボランティアへの僅かな謝金も無しで対応しております。

バス停まで歩くのが大変な利用者の感謝の声に応える為にも、今後10年は通院車両運行を継続を求められていますので、地域に縁の有る多くの方にご支援をお願い申し上げます。

3 プロジェクト内容説明・スケジュール

背景でも述べたとおり、利用者の自宅は中心市街地から10km離れた山あいに点在することから、公共交通利用は困難な高齢者や障がい者をドアーツードアーで送迎を行っています。

利用者の通院理由は主に定期受診で毎月1回から2回、中には複数の病院に通院され月4回以上通院されている方もいます。

運転ボランティアの皆様は、法人の車両駐車場まで自家用車で来て、支援車両に乗り換え⇒利用者宅⇒病院⇒自宅等で待機（診察・処方薬受取の間）⇒（検診終了後）病院⇒利用者宅へ送る⇒法人駐車場で自家用車に乗り換え帰宅⇒概ね3時間（午前1回・午後1回）の1日2回運行していただいています。基本的に病院が休診の土日曜祝日、及び年末年始とお盆以外は、年間を通じ毎日通院車両の運行をしています。

4 目指すところ

地球環境も社会も変化して続けて行くのは自然の摂理で有り、私たちの住む地域でも出生率の低下と平均寿命の増大が同時に進行して、想像していなかった様々な事が顕在化しています。国連が採択した「誰一人取り残さない」という理念のもと、持続可能な開発目標として17項目を掲げるSDGsのNo3【すべての人に健康と福祉を】「あらゆる年齢のすべての人の健康的な生活を確保し、福祉を推進する」ことを実践し、地域の子供からお年寄りにいたるまで、地域を愛し・助け合い・支え合い・励まし合える「歴史・文化・伝統を大切に人に温かいふるさと丸子」を目指しています。

5 寄附の使い道

プロジェクトの運行車両は2台で行っています。親しみやすい「ちゃー丸号」と称し、1号車＝法人所有自家用車1台と、2号車＝リース車両1台で行っています。
車両リース代や燃料費などの車両維持経費と、貴重な時間を割いてプロジェクトに協力して下さる運転ボランティアの方々への謝金に使わせていただきます。

6 ネクストゴールの設定

ネクストゴール設定額： 100万円

ネクストゴール設定時の事業計画
運行経費への充当

7 目標金額に満たない場合

目標金額に満たない場合でも、車両維持費は削減出来ないので、運転ボランティアも謝金を切り詰め、善意で協力していただき事業は継続して行きます。

8 団体紹介

平成23年4月：任意団体設立

平成26年1月：NPO法人登記

平成27年12月：認定NPO法人として認定

丸子まちづくり協議会は、10年前に想像を絶する東日本大震災の壮絶な中継映像を目の当たりにし、地域は地域で守らなければならぬと、地域の既存組織・団体・企業等の協議体として発足しました。東海道20番目の宿場町【丸子宿】を中心に、宇津ノ谷峠・岡部宿をはじめ2峠6宿と連携して歴史的財産を有効利用し、地域力を生かして《住んで良し・訪れて良し・学んで良し》をコンセプトに「心の通う優しいまち丸子」の持続をジビョンとしています。

財政的に厳しい状況ではありますが、地域の皆様から求められている活動であり、今後2030年までは持続したいと考えています。

ふるさとを離れ静岡市外で生活する人達が、ふるさと丸子に住んでいる両親や祖父母の為に、ふるさと納税のスキームを活用した、ガバメントクラウドファンディングを通じ、心からの支援をして頂く事を願っています。

9 広報計画

プロジェクトは地域限定であることから、単にチラシやポスターでは広報のみでは大きな成果がないことから、地域に縁の有る方々に情報を拡散していただくために、クラウド運営サイトの「さとふる」に公開されましたら、理事を中心に広報活動を行います。具体的に以下のような広報活動を行い、ふるさと納税のスキームを活用した、ガバメントクラウドファンディングについて知って貰い、静岡市以外に住む地域縁の方々へ支援の輪を広げて目標を達成できるよう、サイトでの公開後速やかに広報して行きます。

- (1) 私たちのプロジェクトの写真と記事を掲載したチラシを作成し、自治会連合会や地域福祉連絡協議会、及び地域の民生委員会の会合などに配布して、プロジェクトを知ってもらい幅広く支援をお願いします。
- (2) 地元を離れて暮らす方々が年末年始に帰省するチャンスを生かし、通院車両利用者の方（約50人）を中心に地域の皆様に、離れて暮らす子供やお孫さんへ「さとふるで私たちのプロジェクトを応援してください」というメッセージレターをお渡しして貰います。
なお、このメッセージレターにはクラウドファンディングのURLをQRコード化して掲載して直接私たちのプロジェクトへ導き支援をいただけるよう工夫します。
- (3) 私達が開設運営しているホームページに、12月初旬にはプロジェクトのURLとQRコードを記載したお知らせをアップします。
- (4) 静岡市以外に暮らす地域に縁の有る方には動機付け出来るように、返礼品を用意しSNSを介して情報の拡散をするよう、理事を中心に周りの方にも情報発信して貰い、支援者を増やすように広報します。

10 目標金額

500,000円（ネクストゴール設定額 1,000,000円）

積算書

団体名：特定非営利活動法人丸子まちづくり協議会

収入			1,582千円
	科目	内容・数量	金額
ふるさと寄附金 まちづくり協議会	寄付金		500千円
	自己資金		1082千円
合計			1,582千円

支出			1,582千円
	科目	内容・数量	金額
事業費			1,350千円
通院支援事業	運転手謝金	通院支援 600回/年 @500円	300
	リース料	通院車両リース 23721円×12月	285
	整備費	車検、法定点検等	200
	燃料代	ガソリン代 17000k/2台/年 13k/l @160円	210
	保険	任意自動車保険 送迎サービス保険 ボランティア活動保険	250
	雑費	自動車税、消耗品、印刷代 他	105
その他			232千円
	手数料相当	12%+税 6.6万	66
	返礼品	3万円×5人 3.8万 2万円×5人 2.5万 1万円×20人 5万 5千円×10人 1.3万	126
	送料	4万	40
合計			1,582千円